



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町6月議会定例会が14日から16日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

## 各自治会などの協力のもと 八峰町防災訓練を実施

5月28日、八峰町防災訓練を特別養護老人ホーム「松波苑」を主会場に、日本海沖合で巨大地震が発生し、秋田県沿岸に「大津波警報」が発令されたという想定で実施しました。

当日は、早朝から松波苑の入居者をはじめ、施設職員、八峰消防署、町消防団、地域住民など150名の方々から参加いただき、八峰消防署の解説をまじえながらマイクロバスや車いすでの避難訓練、町消防団による火災防御訓練、地域住民の皆さんによる初期消火訓練などを行いました。

また、沿岸部の自治会においても、各自治会独自の計画による津波避難訓練が実施されました。

訓練に参加いただきました松波苑の施設利用者並びに職員の皆さん、そしてご協力くださった八峰消防署、町消防団、警察、交通指導隊、地域住民の皆様には心から感謝申し上げます。

## 早朝から多くの町民が参加 春季全町一斉清掃

春季の全町一斉清掃が4月16日に行われ、早朝からたくさんの方々の町民の皆様が参加してくださいました。

例年のように八森地区においては町内の側溝の泥上げや漂着ごみ等地域周辺の清掃を、峰浜地区においては地域の道路脇に捨てられている缶・ビン・

## 6月議会定例会に 提出した主な議案

- △専決処分事項の報告について  
平成28年度一般会計及び簡易水道事業特別会計補正予算各会計の歳入歳出とともに事業確定などに伴う補正
- △八峰町個人情報保護条例等の一部を改正する条例制定について
- △八峰町犯罪被害者等基本条例の一部を改正する条例制定について
- △損害賠償の和解について  
平成29年度一般会計補正予算7,156万円1千円を増額追加した主な歳出  
旧八森子ども園の解体工事  
担い手育成応援事業補助金  
雇用創出活動支援事業補助金、プレミアム付商品券発行事業補助金、ぶなっこランド改修事業費
- △平成29年度各特別会計補正予算  
・八峰町国民健康保険事業勘定  
243万円を増額  
・公共下水道事業  
309万9千円を増額  
・町営診療所  
4千円を増額
- △平成28年度一般会計及び各特別会計の繰越明許費繰越計算報告

新たに湧出した「八森いきりび温泉」分析結果  
「八森いきりび温泉」分析結果  
泉質などは現在の源泉と同質

新たに湧出した「八森いきりび温泉」分析結果について報告します。  
泉温は56・8度と高温泉に分類され、湧出量は動力揚湯で毎分250リットル、pH（ピーエイチ、水素イオン濃度）値は7・1の中性であり、泉質はナトリウム・硫酸塩・塩化物温泉です。知覚的試験では、微褐色透明、無臭で微弱な塩味を有することです。

浴用の泉質別適応症としては、きりきず、末梢循環障害、冷感性、うつ状態、皮膚乾燥症などに効果があると考えられています。

なお、可燃性天然ガス測定において、ガスの発生は検知されています。

これらの分析結果から、既存の源泉と比較し泉温が10度ほど高いほかは、各種成分においてほぼ同じ数値が示されており、現在利用している温泉と同質のものと認識しています。

## 八森地区の八森子ども園 認定こども園としてスタート

平成26年11月に統合により開所した八森子ども園は、なお一層の良質かつ適正な内容及び水準の特定教育・保育事業を行うことを目的に、2年間の職員の研修や研鑽を経て、今年度4月1日に、保育児童数59名、職員が園長以

ベットボトルなどを拾い集め、指定場所に運搬していただいたところで。集められたごみは、可燃ごみが約1,180キログラム、不燃ごみが約1,540キログラムで、昨年比比べると可燃ごみで約790キログラム、不燃ごみで約100キログラム減少しました。全体では約890キログラムの減少となっておりますが、不法投棄された自動車のタイヤ・テレビなどの粗大ごみも多く、引き続きマナーの向上や不法投棄防止の啓発を実施します。

一斉清掃に参加していただきました町民の皆様には感謝申し上げます。



## 平成28年度がん検診受診状況 早期発見早期治療のために

次に、がん検診の平成28年度受診状況について報告します。

乳がん検診の受診率は対前年比2・9%減の48・4%、子宮がん検診は

下24名をもって、幼稚園機能と保育所機能の両方を合わせもつ単一の施設「幼保連携型認定こども園」として新たにスタートしました。今後は、保幼小の連携を推進し、幼児保育・教育の拠点として、なお一層の充実を図るよう努力します。



また、峰浜地区の子ども園の統合については、昨年度「峰浜地区子ども園のあり方に関する検討会」からの「統合すべき、更に園舎は新築すべき」との答申を基に、統合の時期、建設場所として認定こども園への移行など、早急に検討するため、検討委員会を設置することとしました。

## 第1回学校運営協議会開催 より地域とともにある学校へ

次に、学校運営協議会についてです。少子高齢化の加速や、それに伴う人

6・1%減の41・1%となつています。肺がん検診は対前年比2・3%増の42・9%、胃がん検診は1・7%減の30・1%、大腸がん検診は0・7%増の42・4%となっております。昨年度に比べ、子宮がん検診の受診率が減少するなど、全体的に受診率は伸び悩んでいます。肺がん、大腸がんの受診率は国の目標受診率40%を超えており、受診を勧めるコールリコール事業の影響が顕著に表れており、今後も対象部位を拡大しながら継続して実施することなど、受診しやすい環境を整えて受診率の向上を図り、早期発見早期治療ができるよう努めます。

## おがる八峰しいたけプロジェクト 年度内に試験操業を開始予定

次に、おがる八峰しいたけプロジェクトについて報告します。

まず、ホダ製造建屋と事務所棟については、県の営繕工事単価が5月1日から変更になったことから、設計金額の見直しを行い工事発注しました。

また、培養棟と栽培棟については、ホダの製造個数を確保しつつ、建設費を削減するため、建築面積や構造、材料などを精査・検討した結果、全体予算額の7パーセント程度削減できる見込みとなっております。

ホダ製造建屋を始めとするすべての建物については、年明け早々に試験操業を開始できるよう、年内の工事完成を目指して進めたいと考えています。

口の減少は、学校においても大きな問題であり、もはや学校だけでは教育を語ることはできない、地域をもって支えてもらわなければ成り立たない状況となっております。

この状況について、地域と一体となった学校づくりを目指すため、平成29年3月に八峰町学校運営協議会規則を制定し、町内全ての学校に協議会を設置することとしました。そして5月17日に、地域住民、学校長、保護者代表、学識経験者等20名を委員として委嘱したのち、第1回学校運営協議会を開催し、当町の学校運営協議会の取組等についてコミュニティ・スクール・ダイレクターが概要説明を行い、続いて各校が教育目標及び学校経営方針、教育課程の編成方針について説明し、協議会で承認されました。今年度は、今後3回の協議会と2回の講師を招聘した会議等の開催を計画し、各校の特色ある教育実践を大切にしつつ、より地域とともにある学校として、学校・保護者・地域住民の協働により、将来の八峰町を支える人材の育成を図り、持続可能な学校、地域づくりの推進を図ります。

なお、コミュニティ・スクール・ダイレクターには、昨年度末まで校長職を勤められ、最も地域に明るい地元出身の川尻茂樹氏を適任者として任命しました。